



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2016年5月19日～2019年10月17日にご同意いただいた方で

特に疾患のない方

【研究課題名】

認知機能障害をきたしうる神経変性疾患におけるバイオマーカーの測定

【研究責任者】

小野 賢二郎（昭和大学医学部 内科学講座 脳神経内科学部門）

【本研究の目的及び意義】

本研究は認知機能障害の患者の脳脊髄液のバイオマーカーを解析し、認知機能障害の病態を明らかにする研究である。現在、認知機能障害に有効な血液バイオマーカーがないため、認知機能障害を有する患者と認知機能正常者の脳脊髄液・血液を比較解析し、診断に有用なバイオマーカーを確立することを目的とする。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血清）、髄液

性別、年齢

【研究期間】

2020年 10月 2日～2021年 3月 31日

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520 e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)